

学校だより



稲荷台

令和6年4月8日

4月号

横浜市立稲荷台小学校

今年度も いいな いいな 稲荷台

校長 中山 正之

卒業式前にぽつぽつと咲き始めた校庭の桜は、いつもより時間をかけて開花していき、入学式の頃まで楽しむことができました。令和6年度が始まりました。

4月5日に103回目の入学式を行い、元気な61名の新1年生を迎えました。今年度は全校386名の児童数で、新しい学校生活を始めてまいります。1年生から6年生まで2クラスの編制です。そして個別支援学級（チャレンジクラス）は3クラス編制です。新しく着任した先生方や職員の方も迎えました。一つ進級した2年生から6年生は、新しい友達、新しい先生と出会えることと思います。また、学年によっては昨年度の先生とまた一緒に過ごせる子達もいるのではないのでしょうか。いずれにしても、希望に満ちた4月のスタートにしてほしいものです。

本校では今年度も、学校教育目標の「自分とみんな いいな いいな 稲荷台」の実現を目指し、子ども達を育てていきます。育成を目指す資質・能力として「問題発見力・解決力」と「言語能力」を重視し、授業をはじめとする様々な活動に積極的に取り入れていきます。そして、昨年度まで全校で取り組んできた特別支援教育は、培ってきたノウハウを「個別最適な学び」の研究に生かし、併せて「協働的な学び」についても効果的な指導の在り方を探っていきたくと考えています。この数年来取り組んでいる「チーム学年経営」では、低・中・高学年のブロック単位での活動、全学年で担任間の教科交換指導、3年生以上の専科指導の実施を今年度も進めてまいります。また、少人数の取り出し指導（イナリタイム）は担当と各担任による事前の調査を行ったうえで、5月頃から開始したいと考えています。さらに学習でのiPadの活用について、デジタルドリルの活用を進めるとともに、夏休みには子ども達が自宅に持ち帰って使えるように環境を整えていく予定です。

生活面では、児童支援専任を中心に、子ども達が安心して過ごせる生活環境を整えていきます。学校で起こったことの保護者の皆様への報告は、担任や学年から可能な限り早期に行ってまいります。また、お子さんがご家庭で悩んでいる様子が見られる場合には、保護者の皆様からもご連絡をお願いいたします。問題がある場合には学校とご家庭とで協力して、早期に解決していきたくと思います。学校では見落としがないように努めていきますが、もしお気づきの点がございましたら、小さなことでもご相談ください。

昨年度、子ども達に繰り返し話をしていたことがあります。それは、「早寝早起き朝ごはん」の習慣です。これらは子ども達が毎日を健康で穏やかに過ごすうえで、不可欠のものだと私は思います。一日の活動の疲労を取り、翌日に向けて回復させるには毎日十分な睡眠が必要です。そして丈夫な体を作るのに必要な栄養とエネルギーを、日々の食事によってしっかり取ることも同様に必要です。特に、成長において重要な時期にある小学生の子ども達にとっては、身体の発育のためだけでなく、心の状態を安定させるためにも、毎日三食をしっかりと取り、9時間から12時間程度眠ることが必要だと言われています。稲荷台小の子ども達の様子を見ると、睡眠時間が十分でない子や朝ご飯を食べずに登校する子が時々見られます。今年度も子ども達には折を見て、「早寝早起き朝ごはん」を呼びかけていこうと思います。習慣として定着させるために、保護者の皆様のご協力も何卒よろしくお願いいたします。